

今シーズンも多いマツカージュ

色移りが心配：安心してお任せを

1点ずつ手作業の小羽皮革

本紙では今年も5月の大型連休明け直後、特殊品クリーニング大手の小羽皮革の本社工場（静岡県袋井市）を訪問。中東情勢緊迫化の影響や、それに伴うさらなる物価高騰でシーズンの動向が気になる中だが、この時期メインとなるダウン



▼肩下のマークやファスナー、ポケット回りのレザーからの色移りに注意が必要。マツカージュ。今シーズンは白が目立ち、汚れのキツイ品物も多いというが、小羽皮革では1点ずつ手作業で処理

笑顔が。荷動き全般に関しては「例年と比べると遅い」と話していた昨年並みだとい、「遅れているだけなのか、出し控えるのか、現時点ではまだ分からない」。

しかし、この冬は寒暖差が大きかったものの、全国的に暖冬傾向とされていたこと、また、ダウン人気も下降気味と言われていた中、そのダウンの点数もほぼ前年と変わりなく、工場のあちこちで例年同様、ヤマを見かけた。

そのダウンの中でも、やはり目立つのはモンクレールであるが、昨年の同社の記事でも大きく取り上げたマツカージュはますます勢いを増し、モンクレールを上回る点数を集める販売チャネルもあるようだ。



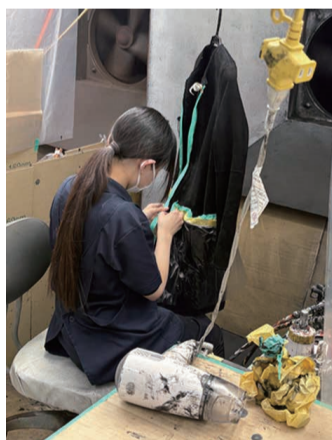
▲あちこちにダウンのヤマが。その中でも、やはり目立つのはモンクレール



▲昨年、ほぼ同位置から撮った画像と見比べてみると、今年の方が少しボリュームがありそう

マツカージュは取り扱っていた革製品、ナイフサ不足により、入荷遅れや入荷できないと、さらに、シミ

の難しいアイテムではあるが、同社ではブランドの強固なネットワークを構築していること、また、「安心してお任せし口の上がり」でクリーンアップに力を入れている。具体的なコストアップについては、原油高を背景としたコストアップ



▲40～50代のベテランが豊富だが、10代女性など若手も増やしている

▲バッグやスニーカーはウイットやチャネルなどのハイブランドを中心に安定



加えて、数年前から順次、巨大エアコンや大型冷風機の設置など、暑さ対策にも取り組んでいる小羽皮革の工場は、繁忙期を含めていつでも見学可能。興味のある方は同社（TEL 05388-49071）まで。

また、今の40～50代のスタッフは当然のことながら、10年後には50～60代、20年後には60～70代になることから、10～20代の若手スタッフも増やしており、フレックスとまではいかないが、希望により、ある程度の早出・早上がりや勤務途中の中抜けもOK（横山社長）とするなど、働きやすい環境づくりを心掛けていくという。

また、今の40～50代の経験者をフルに活かして、ベストの品質の提供に努めている。



▲もともとは総工場など現場のキーマンだった横山社長。昨年3月の社長就任以降の記憶があまりないというほど、とにかく必死で突っ走ってきた。最近ようやく笑顔も出るようになったが、この春以降のポリや燃料などの大幅値上げは経営トップとして頭の痛い問題